

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



診療科紹介 | 整形外科 高度な医療を患者様のご希望に応じた温かみのある治療計画で

当院整形外科は骨折などの外傷と人工関節置換術に力を入れています。常勤医2名と非常勤医で外来は月曜から金曜まで午前午後、土曜日は午前中のみとなっております。

当院整形外科の人工関節置換術と骨接合術の特徴と方針について説明させていただきます。

<人工関節置換術>



半置換術

膝関節全部を置き換える全置換術と内側だけを変える半置換術があり、**よりの体の負担が少ない半置換術**を積極的に実施しています。悪いところだけを置換するので術後の腫れや痛み、違和感が少なく、よく曲がります。手術翌日から痛み無く歩行され、術後5日で退院された患者さんもおられます。

膝の外側が痛んでいたり、膝の中の靭帯が痛んでいる患者様には**全置換術**が適応となります。全置換術も膝の後方の靭帯を温存し、かつ筋肉を切らない手術手技を適応し、**術後のよりの良い膝関節の機能を獲得**していただいています。術後の膝が不安定にならないようバランスを整えることにより、痛くないだけでなく、歩きやすい膝になります。



全置換術

足の筋力が弱い患者様には筋肉を切らない手術アプローチを採用しており、術後早期から安定して歩行できます。

術中、術後出血を抑え、術後の輸血はほとんどの患者様で不要となっております。麻酔科の協力もあり、術後の鎮痛にも力を入れています。術後に強い痛みを耐えるということはありません。

患者さまの骨の形にあった手術器械を術前に3Dプリンターで作成し、オーダーメイドで正確に人工関節を設置する最先端技術を使用、手術時間も90分程度と専門病院に劣らないスピードで正確に人工関節の設置を行っています。

<人工股関節置換術>

小さい傷で筋肉へのダメージをできるだけ減らして手術を行う**MIS(最小侵襲外科)**を行っており、手術時間も70分程度と専門病院に劣らない速さで正確な設置を行っています。術後出血も抑え、術前に貧血のない患者さんなら輸血はほとんど不要です。術後5日目で元気に歩いて退院された患者さんもおられます。その患者さんは術後3日目に軽やかに階段昇降ができました。もともと車椅子レベルだった患者さんも、時間はかかりますが、手術後は杖で元気に歩かれています。



患者さんの体格に合わせて手術中に足の長さなどを調整できるシステムを採用しており、術後の違和感や脱臼リスクをできるだけ減らして、極力、行動を制限することなく元の生活に戻っていただきます。

<骨接合術>

受傷後、できるだけ早期に適切な治療を実施しております。麻酔科や手術室の協力もあり、ほとんどの患者様が入院後数日で手術可能です。できるだけ体の負担が少ない手術を実施し、早期に関節を動かして歩行訓練を実施しています。

入院期間やリハビリテーションの進め方は患者様やご家族の希望を考慮しています。専門病院にありがちな、全員が術後〇日目で退院、という型にはまったメニューではなく、早く退院したい患者様はそれができるように、元々歩行に支障があり、筋力が落ちている患者様でしっかり安心してリハビリをしたい患者様にはややゆっくりしたメニューで治療方針を組んでいます。

大学病院、専門病院並みの高度な医療を、患者様のご希望に応じた温かみのある治療計画で提供させていただきます。



整形外科副部長 上野 岳暁 (たけあき)
日本整形外科学会 専門医



検査科は検体検査部門（採血、尿など）と生理検査部門（超音波検査、心電図、脳波、肺機能など）に分かれており、検体検査部門は外部委託（株式会社 保健科学 東日本 <http://www.hsri-ej.co.jp/>）となっております。

生理検査部門は、① 4階フロアで外来・入院患者様の検査 ② 2階フロアで健診・人間ドック受診者様の検査 ③ 20番処置室で外来採血 を担っております。

検査内容は、超音波検査（腹部一般、心臓、乳腺、その他体表、頸動脈、上下肢動静脈）、安静時心電図、24時間心電図、脈波伝導速度、肺機能、脳波、誘発筋電図と幅広く実施しています。

検査内容により完全予約制の検査もありますが、来院当日に検査および結果説明が出来るよう迅速な対応を心がけています。少しでも安心して検査を受けていただけるよう患者様とのコミュニケーションをはかり、《患者様の立場にたった検査》を目指しております。



検査科スタッフ 臨床検査技師 11名（全スタッフ女性）
うち、超音波検査士資格取得者 9名 非常勤 1名



平成27年度 神奈川県救急医療功労者表彰受賞

去る平成27年9月9日（救急の日）、横浜新緑総合病院は平成27年度神奈川県救急医療功労者表彰を受賞致しました。神奈川県救急医療功労者表彰は、神奈川県の救急医療の発展に努め、特に功労のあった者の中で、他の模範となり、推奨するに足りると認められる団体、施設及び個人を顕彰し、救急医療のより一層の発展と県民の救急医療に対する理解を深めることを目的として、設けられた制度です。この表彰制度は昭和57年に9月9日が「救急の日」に制定されたのを契機に知事表彰制度として設けたもので、今年で32回目を迎えます。



横浜新緑総合病院は平成3年から病院群輪番事業に参加し、平成21年4月からは横浜市二次救急拠点病院として24時間365日救急受入れを行っている点、場所柄、横浜市全域のみならず大和市、町田市、相模原市、川崎市などの広域な患者様の救急疾患に対応し、救急医療に貢献した点などを評価されての受賞となりました。今後は今回の受賞に恥じることなく、今まで以上に病院全体で積極的な救急医療に取り組んで参りたいと思っております。



9月13日（日）「第14回 ふれあいバザー」開催報告

当日はバザーの商品、協賛いただいた横浜みどりライオンズクラブの新鮮な野菜や和菓子をはじめ、食事や飲み物も全て売り切れとなる盛況ぶりでした。ゲストの大道芸人 つねむねさんのジャグリングやバルーンアートでは会場が笑い声に包まれ、地域の皆様と共に職員も楽しいひとときを過ごすことができました。

今年もバザー収益金と横浜みどりライオンズクラブの協賛金より、横浜市緑区社会福祉協議会と日本乳がんピンクリボン運動に寄付させていただきます。



平成27年 みんなの健康講座

主催：横浜新緑総合病院

※参加費無料

10月17日（土）シリーズ糖尿病 第16回 「身体も心もリフレッシュ」運動で予防しよう！生活習慣病

運動の必要性や効果についての話を中心に、みんなで一緒に健康について考え、個別の運動に関するお悩みも解消していきたいと思っております。実際に身体を動かしながら、エクササイズもご紹介します。

講師 横浜新緑総合病院 リハビリテーション部 理学療法士 菊池 優



会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分） 時間 午後1時30分～2時30分

お問合せ 地域医療連携室 045-984-6216（直通） 045-984-2400（代表）

11月21日（土）「脂肪肝とメタボリックシンドローム」講師 横浜新緑総合病院 消化器内科医長 桑本 信綱

当院の詳細はホームページをご覧ください

<http://www.shinmidori.com/>